

ぼらんていあ倶楽部

発行：西東京ボランティア・センター 〒202-0013 西東京市中町 1-6-8 保谷東分庁舎内
TEL 0424(38)3771 FAX 0424(38)3772
ランチ：たなしボランティア・コーナー 〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 総合福祉センター
TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555



ボランティア活動って？

挨拶は、はっきり、しっかりと！

今まで当センターに関わってくださった人は数知れず・・・実習生や定期的に、また行事のときに来てくださるボランティアさん、etc. その関わりの中で強く感じることは「挨拶」です。

我々職員は朝、利用者さんに「おはようございます！」と声をかけます。誰でも朝会えば挨拶するのが当たり前と思っていましたが、最近これが出来ない人が増えているように思います。相手がお年寄りだから、障害者だから、どういう風に話しかけたらよいかわからない・・・と思うことはありませんか？人が出会う時には、「こんにちは」「初めまして」と声をかけると思います。その声かけが始まりです。そして、自分が誰なのか「自己紹介」を出来るようになってほしいです。「学校から来たです」「に住んでいるです」など、簡単なもので構いません。いつもいない人が部屋にいたら、きっと誰でも「あの人誰？」と思うでしょう。

「話題」についても、よく聞かれます。「どんなことを話したら良いかわからない・・・」と。何でもいいのです。今日の天気、昨日学校であった面白い話、家族のこと、出身地、etc. それがかきかけで話がふくらむことだってあります。利用者の方の話聞くのも大事です。会話はキャッチボールです。

また、人を相手に話をする時に無表情だったり、目をそらしてうつむいたりしていたら、「この人、話を聞いているのかしら？」と疑問を抱くでしょう。面白かったら一緒に笑い、怒る話なら一緒に怒る、感情は素直に表したほうがいいです。顔の表情ひとつで、つまらない話が盛り上がることだってあるのですから。

今までお話してきたことは、普段の生活でも十分必要なことだと思います。ボランティアに来た時だけでなく、日常生活の中で自然に使えるようになるといいですね。

田無高齢者在宅サービスセンター 利光 有紀

11月のステップアップ講座

アイマスク体験や介添え歩行、言葉かけなど視覚障害者への援助の方法を学びます。視覚障害の方からふだんの暮らしについてのお話も伺います。

午後1時30分～2時50分

おしゃべり会

ボランティアをしている人の交流の場です。初めての方、大歓迎。ボランティア活動のあれこれを一緒に語り合いませんか。

午後3時～4時30分

今回のステップアップ講座は、「インスタントシニア体験」です。引き続き「おしゃべり会」も予定しています。ぜひご参加ください。

1月26日(土)13:30～16:30

たなしボランティア・コーナー

3月28日(木)13:30～16:30

西東京ボランティア・センター

【とき】11月29日(木)

【申込み】前日までにセンターまたはコーナーへ

【場所】西東京ボランティア・センター活動室
西東京市中町1-6-8 保谷東分庁舎内
0424-38-3771

目次

ボランティア活動って？ステップアップ講座	・・・
おしゃべり会	・・・P.1
活動紹介先マップ	・・・P.2
グループ紹介・活動紹介	・・・P.3
募集	・・・P.4

「ボランティアのつどい」打ち合わせ

来年2月に「ボランティアのつどい」を行います。ボランティアが企画するボランティアの交流会です。どういう「つどい」にしていくかを一緒に考えていきませんか。多くの方のご意見・ご参加をお待ちしています。

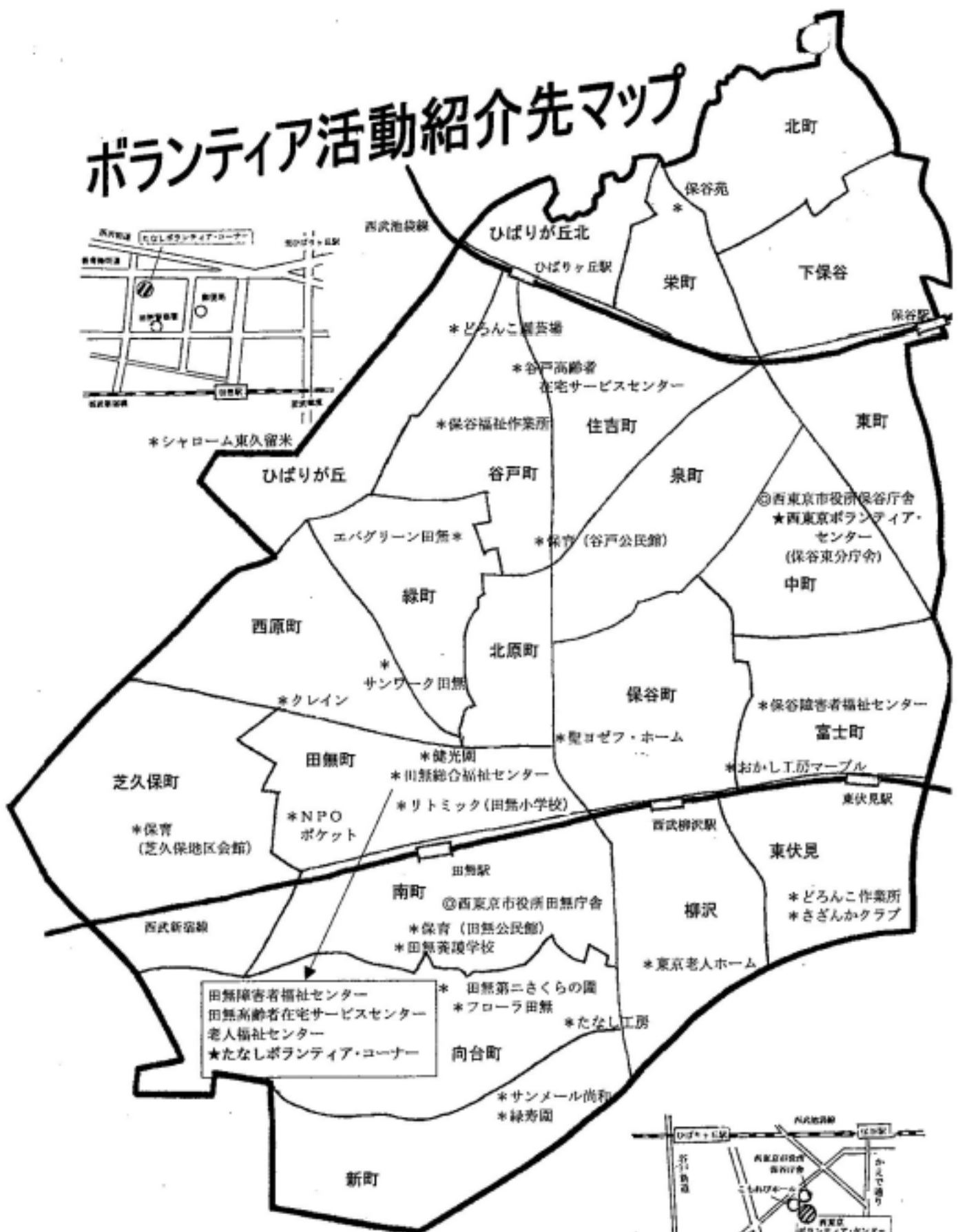
【日時】11月17日(土)午後1時30分～

【場所】たなしボランティア・コーナー活動室

西東京市田無町5 5 12 総合福祉センター4階

0424-66-3070

ボランティア活動紹介先マップ



== 点訳グループ「どんぐり会」 ==

点訳グループ「どんぐり会」は、週1回の活動の他、盲老人ホームより講師の方を招いて、月1回、点字講習会を開催しています。毎年夏休みには、小学生対象の点字教室もやっています。むかしの点訳作業は、点字板やタイプを使い、1枚1枚打ったものを一字一句でいねいに校正して、1冊の点訳本を完成させていましたが、今はパソコンを使うことにより、効率よく校正ができ、量産できるようになりました。点字にたずさわっていると、様々な書物に触れることができます。芥川賞・直木賞の小説をはじめ、市の広報誌に加え、小学校の教科書などの点訳も手がけています。わずか6つの点で、すべての言語表現を可能にする点字の世界のおもしろさは、尽きることがありません。多くの方に、そのおもしろさを伝えていけたらと思います。(連絡先) 輪島 恵子 0424 23 2668

== 田無点訳の会「ともしび」 ==

私達の会は、活動を始めてから今年で16年目を迎えました。今会員は19名、その内2名が男性です。全員が自宅でパソコンを使って点訳をしています。例会は毎月第1・第3火曜日の午前10時から12時迄です。谷戸図書館の会議室をお借りして連絡事項の伝達や打ち合わせを行います。ここには点字用の印刷機がありますので、例会後にはよく印刷や製本をしています。お昼はコンビニのお弁当を食べながらのおしゃべりで楽しいひと時を過ごします。

点訳するものは、読み物類や各種参考書、放送大学の印刷教材、趣味に関するもの、新聞記事等の抜粋、社協だよりその他と広範囲にわたり、殆どの依頼者とはもうお馴染みになりました。また、先日は「どんぐり」さんと一緒に小学校で点字の授業のお手伝いをしました。点字への関心が高まっている今、私達もより一層努力していきたいと思っています。(連絡先) 加藤 利子 0424 22 0151



活動レポート

立場を逆転して

盛田 不二男

長年勤務した障害者施設を定年退職し、これからなにをすべきかと考え、ボランティア・センターの門を叩き登録したのが、ボランティアとしての第一歩でした。定期的に何う施設2ヶ所と、依頼があり都合のいい時に何うボランティアから始めましたが、施設の人たちも温かく接してくれて、それほど緊張もなく従事できましたが、それまでボランティアを受ける側でしたが、今度は立場を逆転しての境遇になり、正直なところ戸惑いが多々ありました。ボランティアの立場の曖昧さ、難しさも知り、自分が現役でいた頃にお世話になったボランティアの方々に行き届きの多かったことを痛感しました。また、ボランティアとして、お年寄りや障害者の方に接してきて"これでいいのか"という思いが最近いつも心の中に残っています。

私にとって現在唯一の人間同士のふれあいの場、そのふれあいを大切にこれからも元気で続けたいと考えています。



・フラメンコで感動を……大原 たか子

私がボランティアに興味を持ったきっかけは、母が入院生活をするようになってからです。病院内で様々な人間模様を知りました。今まで病院とは無縁だった我が家も、やっと人並みというとおかしいですが、病気の人の気持ちがわかるようになりました。そして特にお年寄りに対して、とても優しい気持ちで接してあげられるようになりました。お年寄りに若い人と同じように接してもダメだということが、よくわかりました。そんな私はやはりボランティア・センターで活動している方を通して、私のできることでお役に立てたらと思いはじめました。初めて老人ホームにお伺いした時、お年寄りが涙を流して見てくださったことにとっても感動しました。私のような者でも人のお役に立てるということが、とても嬉しく思えました。

今は仕事もとても忙しいですが、でも私のできるフラメンコ舞踊で、人に勇気と感動を与えられたらと思って、毎日お稽古に励んでいます。これからもできる限り、自分の時間の中でボランティアのお役に立てたらと思っています。(フラメンコ舞踊家)

中・高ボランティア部紹介

武蔵野女子学院ボランティア部は当番制で、共同保育所にんじんと特別養護老人ホームサンメール尚和、それに年2回春と秋にあしなが学生募金に参加しています。

にんじんでは、子どもと遊んだり、おむつ交換や食事補助などの活動を行っています。子ども達には困らせられることも多いけれど、笑顔を見せてくれた時などはとても嬉しいです。

サンメール尚和では、ここで生活をしているお年寄りの体を拭くためのタオルたたみや、通って来ているお年寄りの皆さんと一緒に、詩吟や折り紙、貼り絵などを行っています。お年寄りと話をしたり、また色々な事を教えてもらったり教えたりして過ごしているときはとても楽しいです。

あしなが学生募金では、街頭で声を上げて様々な事情で親を亡くした子ども達の奨学金のための募金をお願いしています。町の人々が募金をしてくれて声をかけてくれた時などは、本当にやっていてよかったと感じることが出来ます。私達はこれからも視野を広げて活動を続けていきたいと思っています。

手塚 麻衣子



募 集



学習指導

さまざまな理由により、親元を離れて生活している子ども達の学習指導をお願いします。基本的なレベルの理解がまだの中学生数人に、しんぼう強く対応してくださる粘り強い方を希望しています。

週 1~2 回、1~2 時間可能な方
月~金曜日 20:30~23:00

児童養護施設 聖ヨゼフ・ホーム 0424 64 2211

託児ボラ

ひばりが丘団地自治会たんぼぼ幼児教室では毎月行われているお母さんと保育者との話し合いや学習会の際に、幼児を保育してくださる方を募集しています。毎月第1・第4木曜日 13:15~16:00 現地までの交通費をお支払いします。

連絡先 小林 Tel&Fax0424 78 9282

場 所 たんぼぼ幼児教室(ひばりが丘 3-1-5)

ほうや福祉作業所バザー

日 時 12月2日(日) 9:30~17:00

場 所 ほうや福祉作業所(ひばりが丘 3-1-23)

内 容 バザー売り場担当(5名)

* 11月平日はバザーのための仕分け作業参加者を募集しています。(半日の活動OK)



てぶくろの会

9月28日、第1回目の[Hot ひといきおしゃべり会]がありました。この会は子育て中のお母さん達が、“ちょっと”“気軽に”集まれる場を作ろうと、地域の子育て支援をするボランティアグループ[てぶくろの会]が開催しました。ボランティア活動で保育を担当する方を募集しています。

【日 時】毎月第2金曜日 【場 所】柳沢児童館
世話焼きおばさんネットワーク「てぶくろの会」の連絡先
中西 0424 24 1070 阿部 0424 78 5971

【ボランティアの感想から】 T.Y

子ども達の面倒を見る間、お母さん方には、お茶を飲んでゆっくり過ごしていただきます。地域のお友達作りをしたり情報交換をしたりして“ほっとひといき”していただくのが目的です。保育が終わって、お母さんと子どもが帰るときに「久しぶりにのんびりしました」と、うれしい感想を聞くことができました。

お母さんが日本語を勉強している間の4歳男児の遊び相手を募集します

毎週月曜日 19:00~20:30 谷戸公民館

毎週土曜日 13:00~14:30 芝久保地区会館

ありがとう親切なボランティア 陳艶軍

私は去年の6月に中国からまいりました。主人も中国人です。いま日本の会社に勤めております。4歳の息子がおります。今幼稚園に通っております。

日本に来る前に、私は日本語が全然わからなかったもので、ちょっと心配しました。でも、日本語教室のボランティアの先生達は、私の日本語を手伝って下さいました。私はだんだん心配しなくなりました。

私が日本語を勉強するとき、ボランティアの方達は私の息子を見て下さいました。その方たちのなかで、男の人でも女の人でも、若い人も年をとった方もいます。皆さんは親切です。息子はいつも楽しそうです。それで私は安心して日本語を勉強することができます。親切なボランティアの皆さん、本当にありがとうございます。これから日本語が上手になるように一生懸命勉強します。ボランティアの皆さん、これからもよろしく願いいたします。

どろんこ作業所

日 時 12月10日(月)~12日(水)

行き先 房総半島

内 容 旅行付き添い(男性希望)

食 費 自己負担

カスタネット 障害をもった子ども達の音楽活動

日 時 毎月第2・第4土曜日 15:00~17:00

場 所 田無小学校わかば学級教室

内 容 リトミック(リズム遊び)での子どもの介助

遊び相手

放課後、一緒に遊んでくださる方を募集しています。

・小3、ダウン症の男児です(住吉町)

・小1男児、自閉的傾向があります(富士町)



上記のお問合せは、たなしボランティア・コーナーへ
0424 66 3070



1. 名 称 第21回あしながPウォーク10 (03-3221-2529) **あしながPウォーク10**
2. 目 的 病気・災害・自死遺児の進学支援と心のケアをする癒しの家建設資金の募集 **武蔵野コース**
フィランソロピー(優しい人間愛)社会作り
3. 日 時 平成13年11月11日(日)午前10時スタート(雨天決行)
4. 集合場所 井の頭公園御殿山広場 (JR 吉祥寺駅から徒歩7分)
5. 参加方法 参加費1人500円(参加者の保険料・運営費)を払い、10キロのコースを歩きます。当日受付をしてください。7名以上で参加すると、チームウォークとして登録できます。



* ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。

西東京市社会福祉協議会	西東京ボランティア・センター	たなしボランティア・コーナー	市役所
公民館	図書館	地区会館	郵便局
こもれびホール	ふれあいセンター	消費者センター	老人福祉センター
			福祉会館
			スポーツセンター